



World Supersport Championship round - 2 Thailand Buriram March 25

大久保光一 予戦 9 番手 決勝 19 位

World Supersport Championship (WSS) の第 2 戦は、3 月 25 日タイのプリラムにあるチャー・インターナショナルサーキットで開催されました。

大久保光は、23 日に行われたフリー走行で 6 番手を獲得してスーパーポール 2 への進出を決めました。ですが、自己ベストの 8 番手を更新しようと挑みますが、タイヤ交換が上手くいかずピット作業にロスがあったこと、コーナーの立ち上がりでリヤのスライドが大きくなるなど不運もあり、タイム更新ならず予選 9 番手となります。

決勝ではスタートダッシュで 5 番手浮上し、6 番手に後退するも、上位進出を賭けて果敢な走りを貫きますが、最終ラップの最終コーナーで転倒してしまいました。すぐに、再スタートして 19 位でチェッカーを受けました。

思うような結果を得ることはできませんでしたが、開幕戦を終えて、カワサキのマシンの力を引き出すために、ライディングの変更、必要な筋力を得るためのトレーニングに心血を注いでタイに入りました。その成果が出てのフリー走行の結果であり、確実に進歩していることを確信することが出来たレースでもありました。

今季の WSS は、Moto2、WSB や、世界耐久選手権から参戦するライダーもいて、レベルが一気に上がりました。レースタイムは、差君に比べて 22 秒も短縮されました。その厳しい戦いの中で、チーム移籍、マシン乗り換えという難しい状況ながら、大久保は、しっかりと上位に食い込む走りが出てきていることは、彼の力も、確実に上がっていることの証でもあります。結果を残すことが出来ませんが、次戦に向けて期待出来る内容であったことも確かなことです。

大久保光

「開幕戦を終えて、そこで、感じたことをベースに、マシンのポテンシャルを引き出すために、何が出来るのかをしっかりと考えました。ライディングのアプローチの変更。必要な身体を作るためにトレーニングをみっちりこなして挑みました。その方向性は間違っていないと実感しています。今季の WSS のレベルアップはラップタイムの上昇からも感じています。それでも、その中で、しっかりと結果を出して行かなければならないと思っています。課題は、一発タイムを出せるようにして行くこと。それがあれば、予選グリッドを上げることが出来て、決勝の戦いも優位に進めることが出来ると思います。昨年は、タイで 6 位でしたが、上位陣の転倒もあつての順位でした。今回は同等のポジションを走ることが出来て、転倒してしまいましたが、手応えとしては、今年の方が大きいと思っています。良い報告をすることが出来なくて申し訳なく思っていますが、確実に前に進んでいます。次戦も上位を目指します」

※次戦は 4 月 15 日スペインで開催されます。

Kawasaki Puccetti Racing◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo.co.jp [大久保 光]

